

火災を未然に防ぐ だから仏壇に標準装備したい  
取扱店募集中

# 高感度火災検出センサー

## 中原三法堂（倉敷）



仏壇の天井からぶら下げようにして簡単取り付け  
経机上の炎も感知する（中原三法堂）

できる。

中原三法堂ではすでにこの仏壇火災検出センサーをお客様にすすめ、「火災センサー付き仏壇」として喜ばれている。

現在は仏壇の格天井に取り付けるだけで、仏壇はもちろんのこと、経机上の炎の大きさまでも判断することができ。

アンテックはこれまで陶芸登り窯内の温度を調べるセンサーなどを開発してきたが、今回の火災検出センサーはこれまで蓄積してきた技術力を生かした製品。仏壇ばかりでなく、寺院や神社など生の蠟燭の火を使う現場で広く使って頂くことが出来る優れた製品。仏壇店営業の幅を広げるアイテムになりそう。

なお、製品の取り扱いには商圏地区などをバッテリーングしないように設定されるので、早めのお問い合わせを。

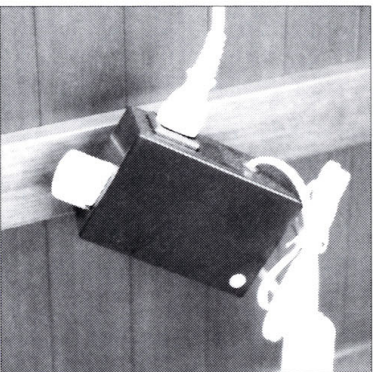
◎中原三法堂 TEL〇八六（四二七）五五八八  
FAX〇八六（四二六）〇四七七

大変残念なことではあるが、蠟燭や線香を使う仏壇は時として火災の原因となる。もし、火が少し大きくなった瞬間を知らせてくれる火災検出センサーがあれば、より安心して蠟燭や線香を使って頂けるのではないかと。そんな思いから中原三法堂（倉敷）が採用したのがアンテック（瀬戸内）が開発した火災検出センサー。

この火災検出センサーは二センチ程度の炎を五メートル先で感知できる能力を持つ。この高感度な能力の秘密は紫外線を検知するセンサーにある。それも太陽光線に含まれる紫外線と炎の紫外線を識別するため、確実に炎のみを感知する。

当初、中原三法堂が試験的にこのセンサーを仏壇に取り付けたところ、

蠟燭の小さな炎でもすぐにセンサーが反応してしまい警報機のアラームが鳴ってしまったが、その後センサーの感度を調整した結果、蠟燭の炎の大きさを越え、火事につながる炎になったとセンサーが判断した時にブザー音がなるよう改良された。今年六月には消防法が改正され新築住宅における火災報知器の設置が義務づけられたが、現行の火災報知器の大半は煙や熱を感知するもの。それに対してアンテックの火災検出センサーは炎そのものを検出するため、いち早く火災の危険性を知らせることが



中間スイッチで  
灯籠と電源を共有